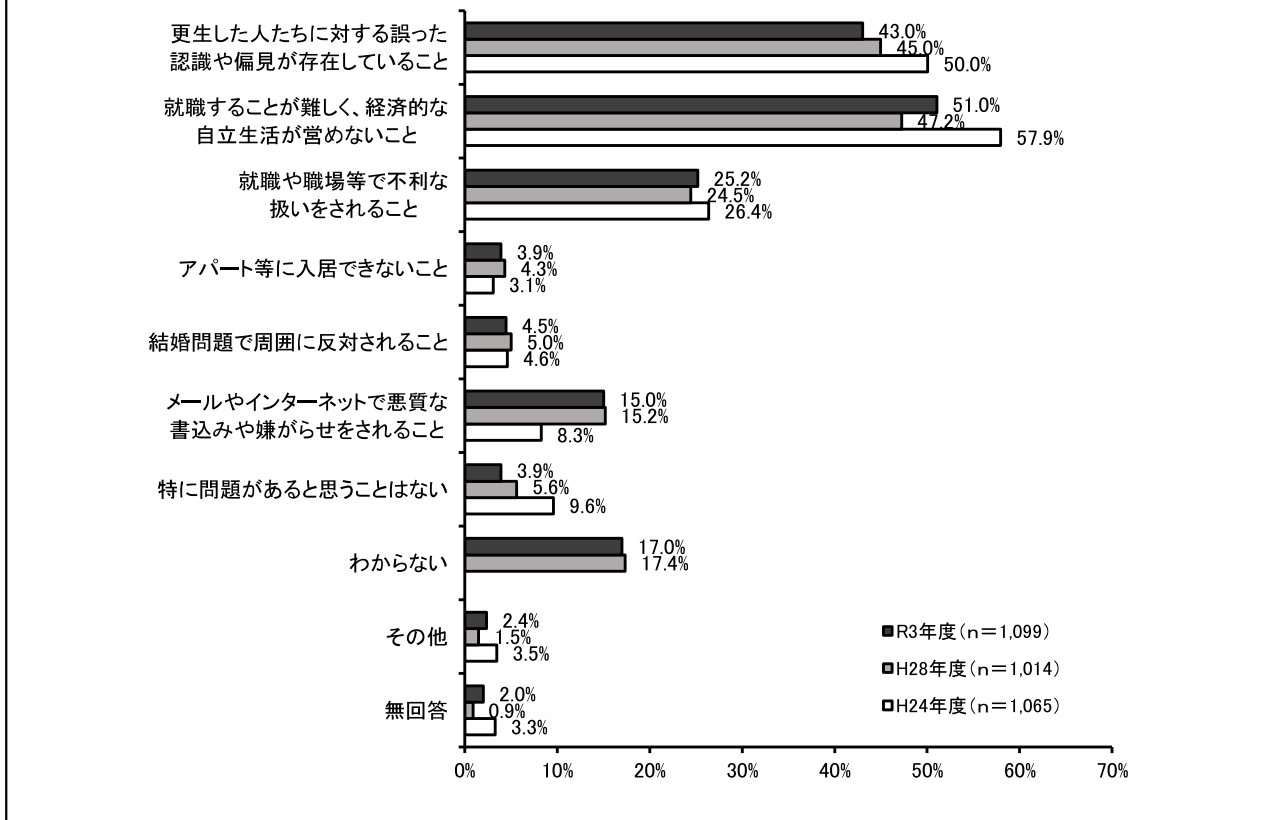


3-10 刑を終えて出所した人の人権について

(1) 罪や非行を犯した人が、罪をつぐない社会復帰する場合、問題があると思うこと

問 34 罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会復帰を図ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。



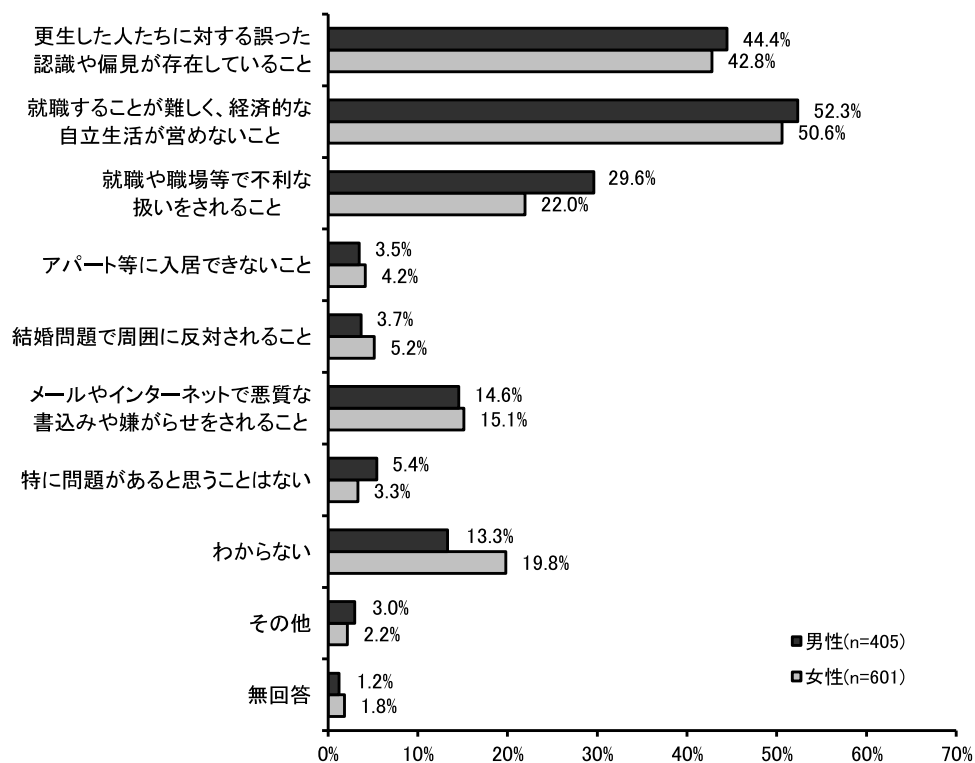
■「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が51.0%と最も高く、次いで「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が43.0%、「就職や職場等で不利な扱いをされること」が25.2%の順となっている。

【前回・前々回比較】

■「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」は前回の47.2%より3.8ポイント増加している。

■「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」は前回の45.0%より2.0ポイント、前々回の50.0%より7.0ポイント減少している。

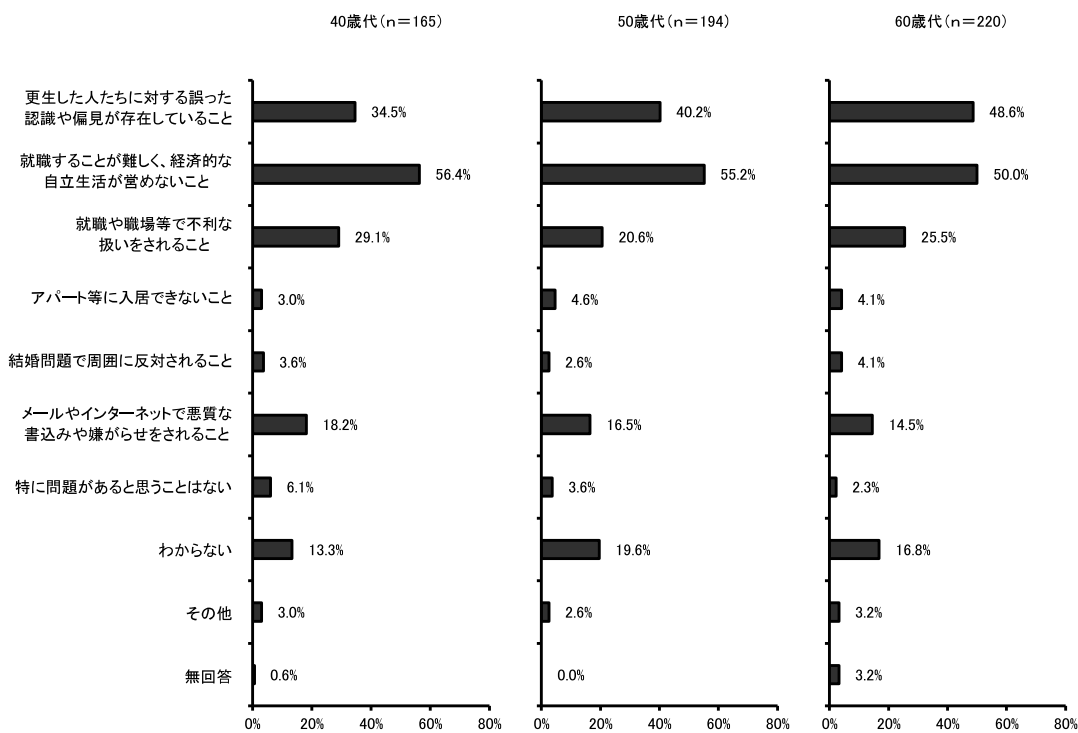
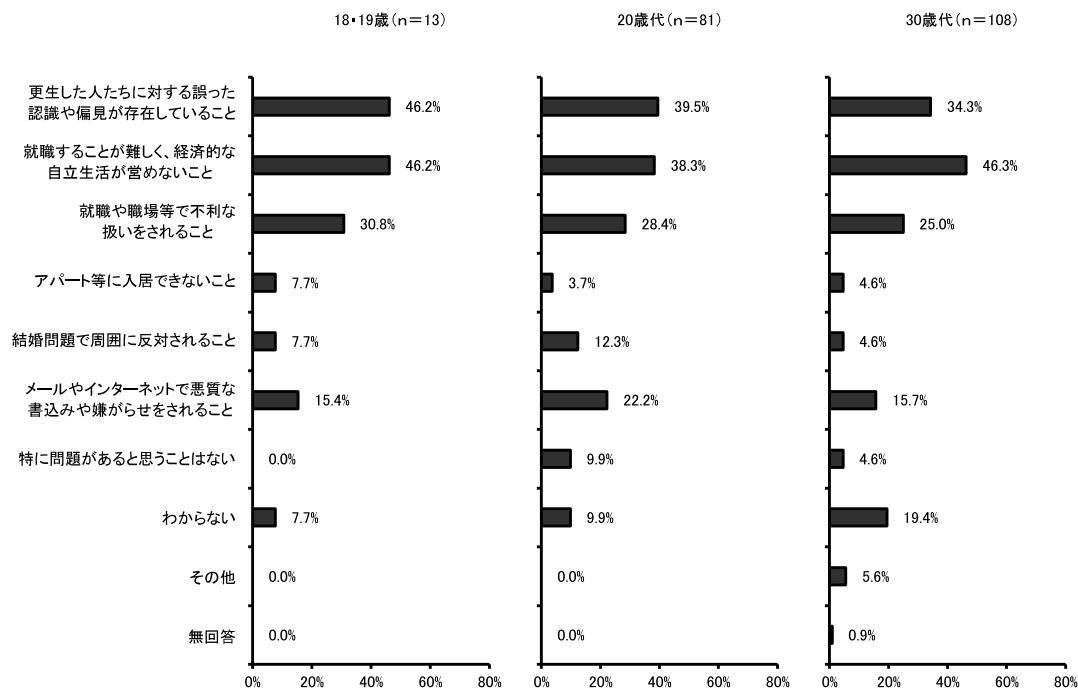
男女別

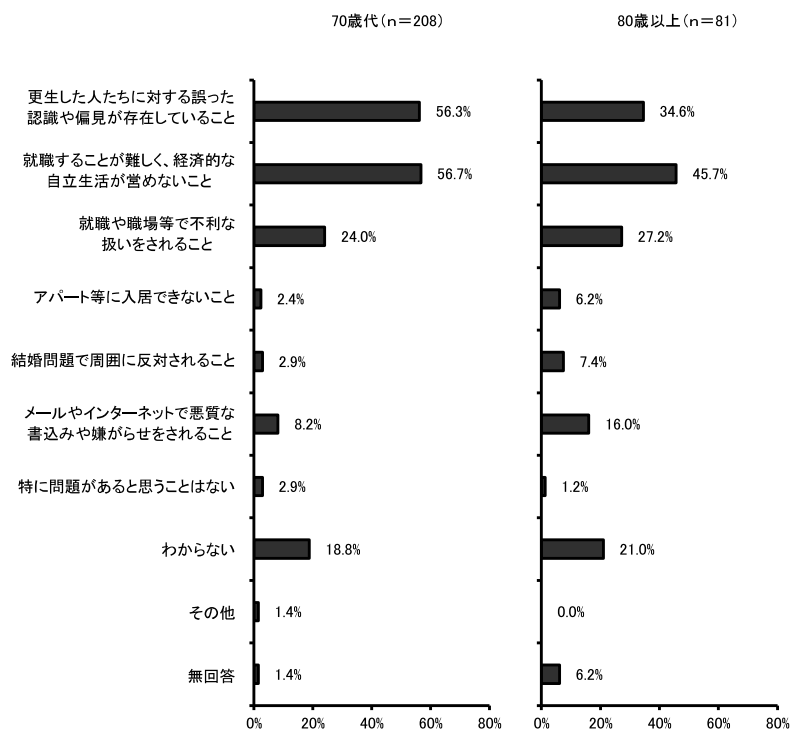


■男女共に「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が最も高く、5割を超えている。

■「就職や職場等で不利な扱いをされること」は、男性が29.6%で女性より7.6ポイント高く、「わからない」は、女性が19.8%で男性より6.5ポイント高くなっている。

年代別

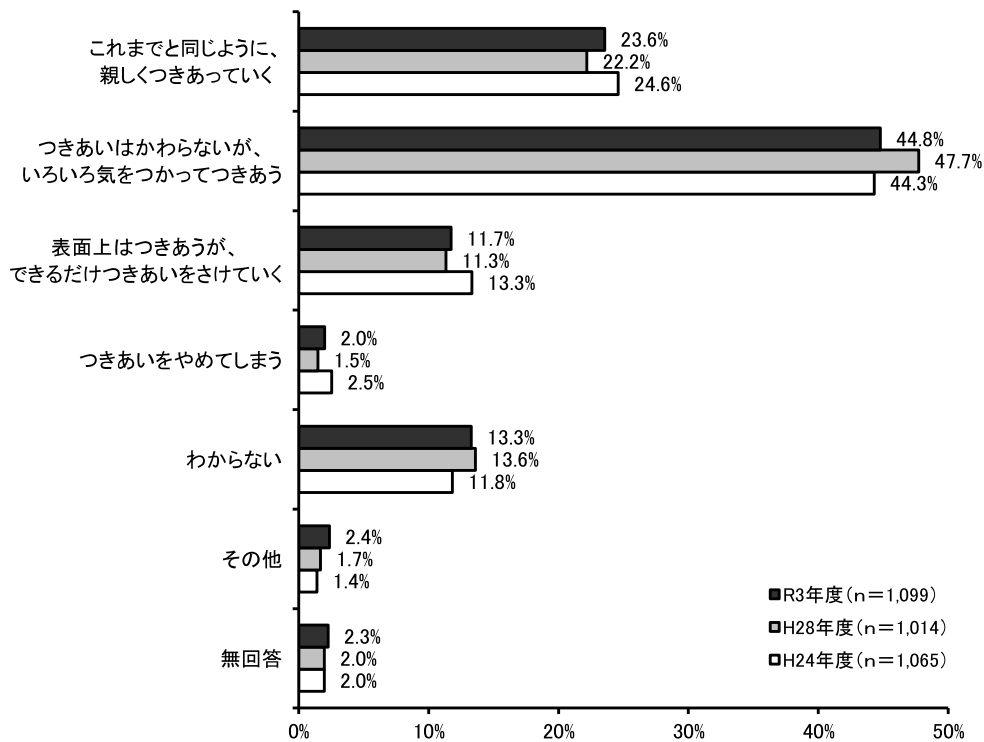




- 20 歳代では「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が、30 歳代以上では「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が最も高くなっている。
- いずれの年代においても「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が高く、40～70 歳代では5割を超えている。

(2) 日頃親しくしている人が、刑を終えて出所した人だとわかったときの対応

問 35 日頃から親しくつきあっている職場の人や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどのようにしますか。あなたのお気持ちにいちばん近いものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

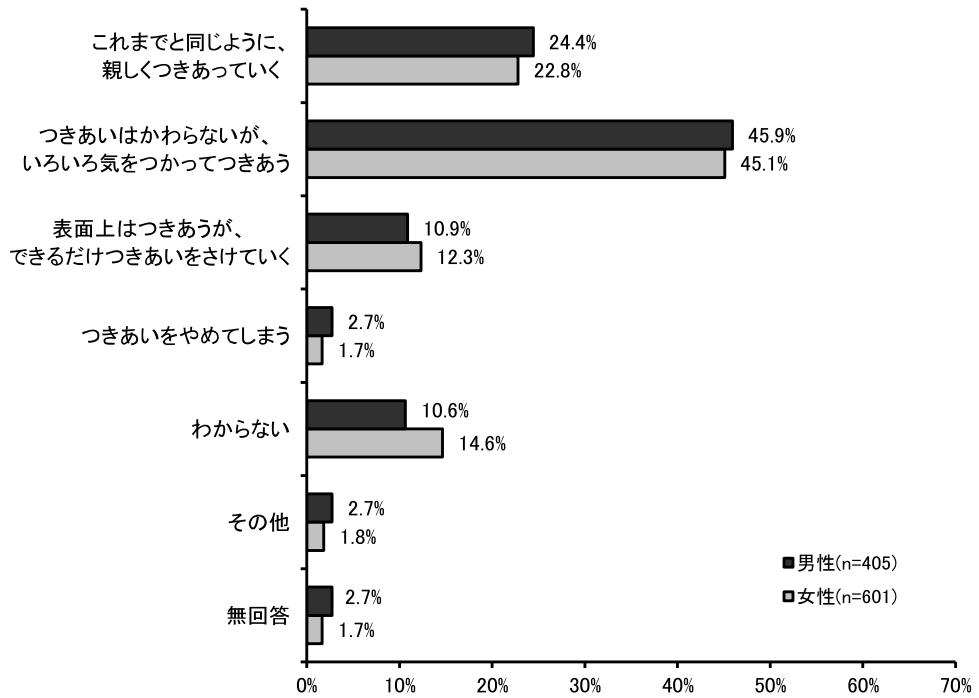


- 「つきあいはかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が44.8%と最も高く、次いで「これまでと同じように、親しくつきあっていく」が23.6%、「わからない」が13.3%の順となっている。
- 「これまでと同じように、親しくつきあっていく」と「つきあいはかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」を合わせた“つきあい方が変わらない”は、68.4%となっている。
- 「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」と「つきあいをやめてしまう」を合わせた“つきあい方が変わる”は、13.7%となっている。

【前回・前々回比較】

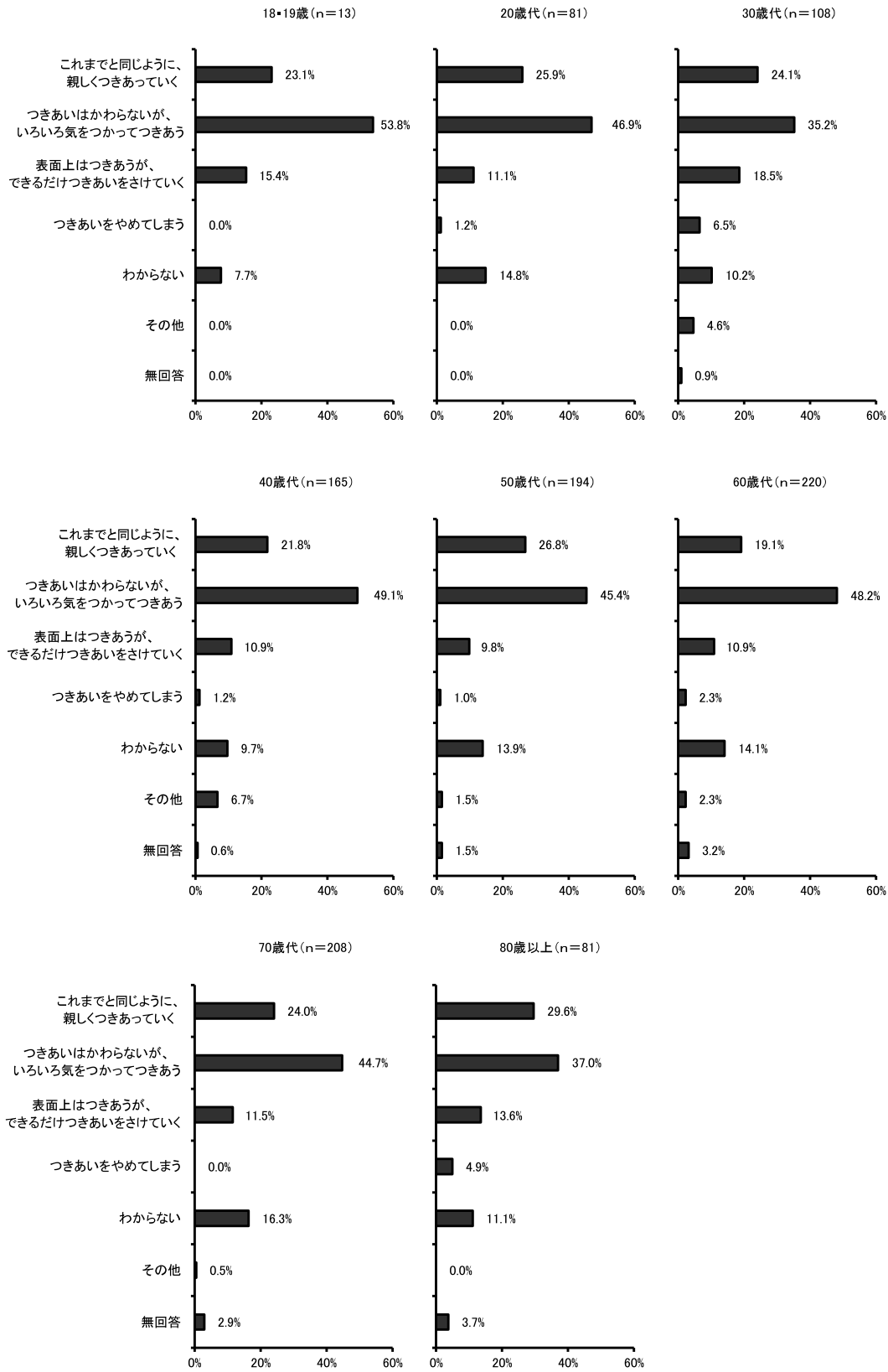
- 「これまでと同じように、親しくつきあっていく」は前回の22.2%より1.4ポイント増加し、「つきあいはかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」は前回の47.7%より2.9ポイント減少している。
- “つきあい方が変わらない”は、前回の69.9%より1.5ポイント減少し、“つきあい方が変わる”は、前回の12.8%より0.9ポイント増加している。

男女別



- 男女共に「つきあいはいかかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が最も高く、4割を超えている。
- “つきあい方が変わらない”は、男性が70.3%、女性が67.9%で、男性がやや高くなっている。
- “つきあい方が変わる”は、男性が13.6%、女性が14.0%で、差はほとんどみられない。

年代別

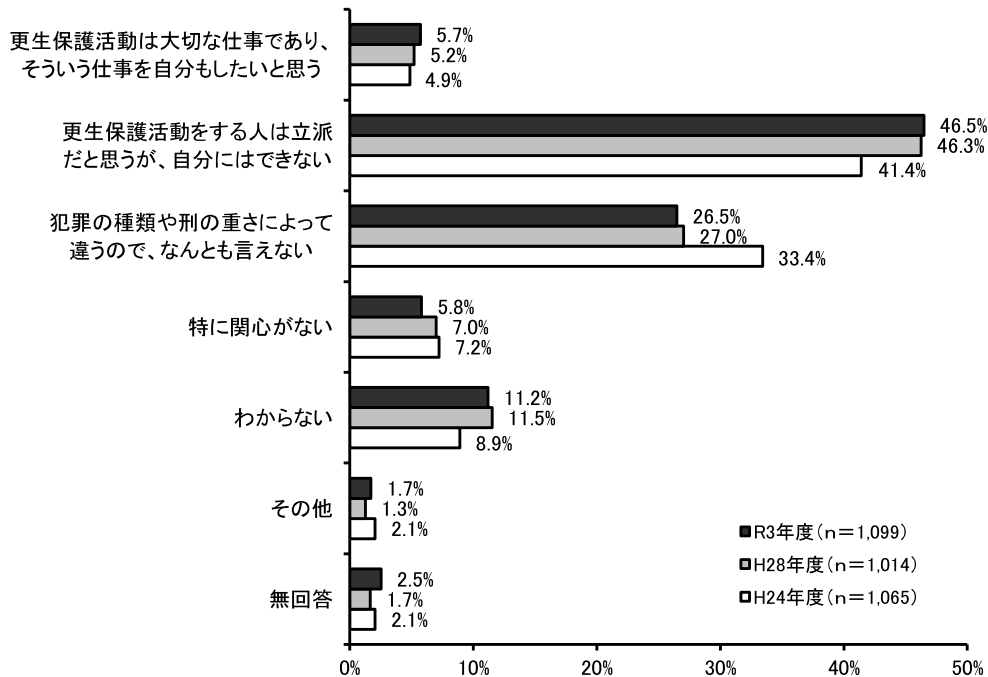


■ いずれの年代においても「つきあいとはわからないが、いろいろ気をつけてつきあう」が最も高くなっている。

■ “つきあい方が変わる”は、30歳代で25.0%と、他の年代よりも高くなっている。

(3)「更生保護」活動への参加呼びかけに対する対応

問 36 刑を終えて出所した人たちが社会に復帰するのを援助する「更生保護」活動をしている人たちがいます。もし、「更生保護」活動をしませんかと呼びかけられたら、あなたはどのようにしますか。あなたの考えにいちばん近いものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

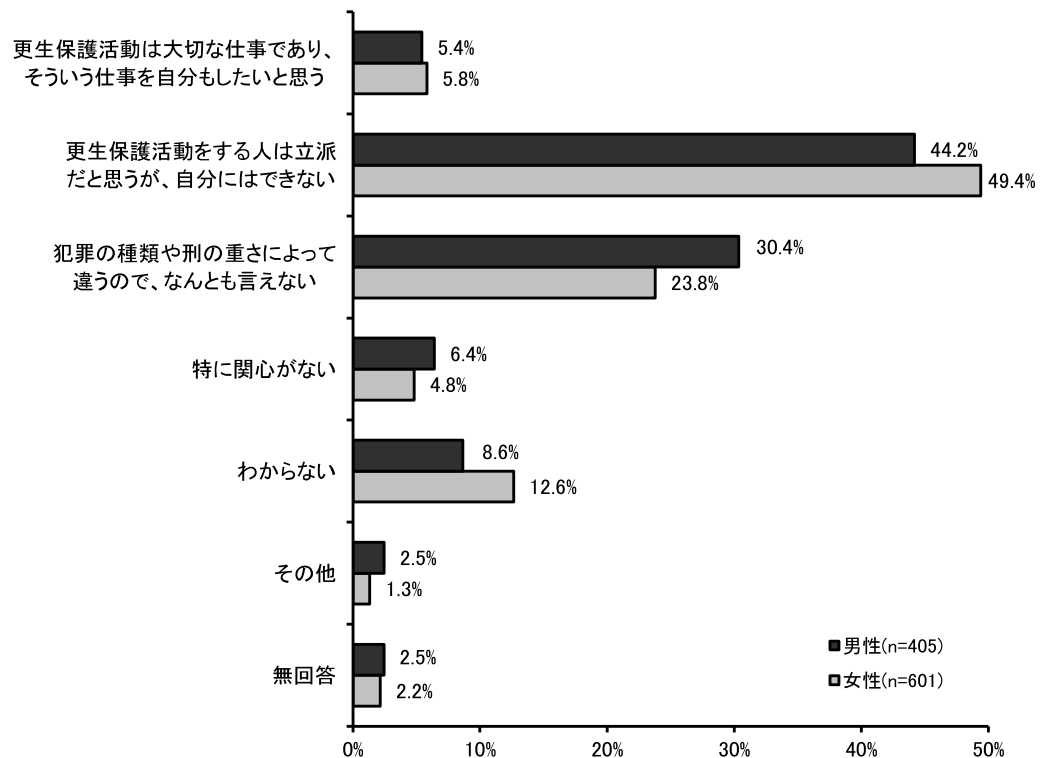


■「更生保護活動をする人は立派だと思いが、自分にはできない」が46.5%と最も高く、次いで「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」が26.5%、「わからない」が11.2%の順となっている。

【前回・前々回比較】

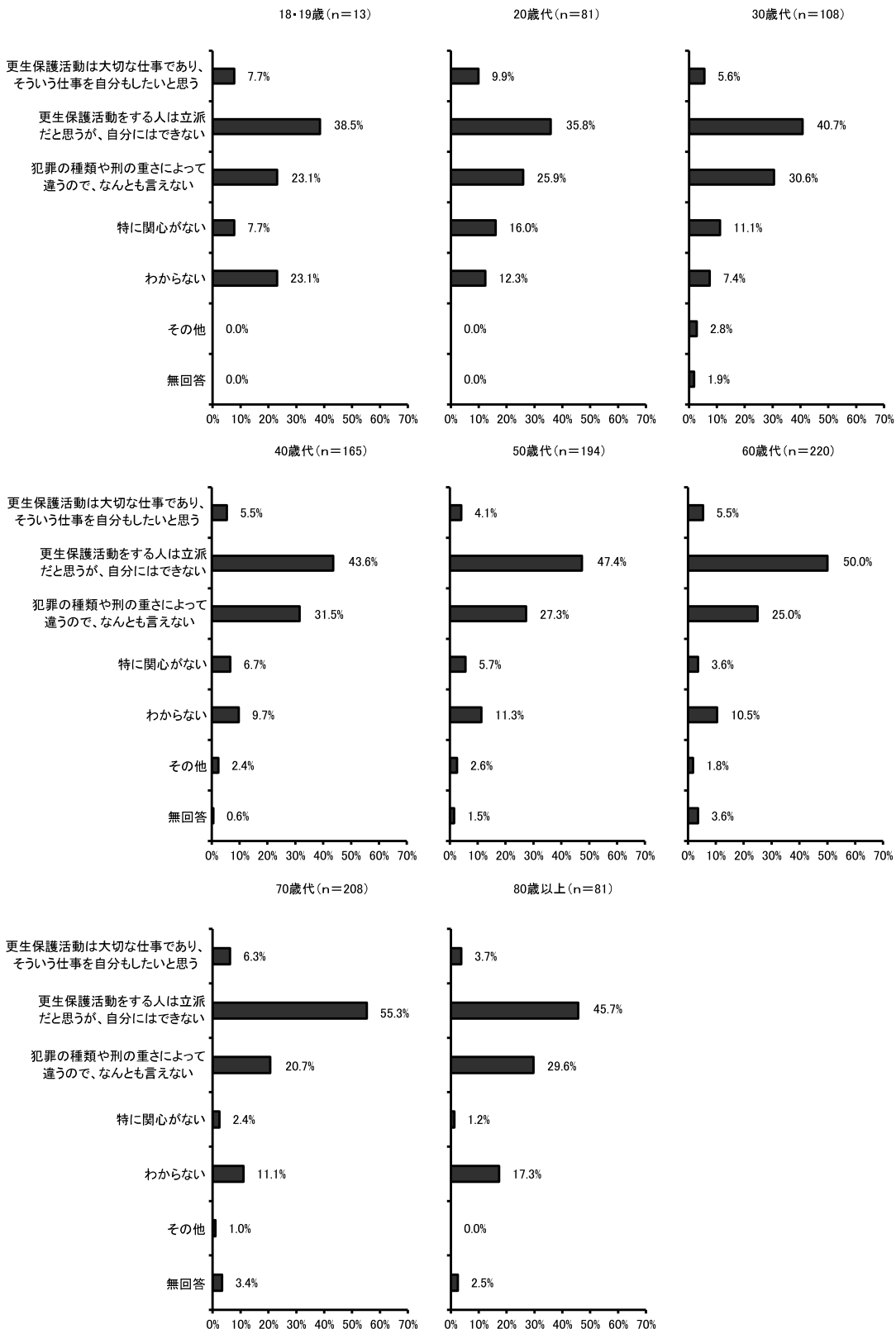
■前回、前々回同様、「更生保護活動をする人は立派だと思いが、自分にはできない」が最も高く、次いで「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」の順となっている。

男女別



- 男女共に「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」が最も高く、4割を超えている。
- 「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」は、男性が30.4%で女性より6.6ポイント高く、「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」は、女性が49.4%で男性より5.2ポイント高くなっている。

年代別



■ いずれの年代においても「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」が最も高く、70歳代では5割を超えている。

■ 「特に関心がない」は、若い年代ほど高くなっている。